

次世代型営農チャレンジファーム運営事業 企画提案書（事業報告書）

1. 応募者の概要

(1) 事業の実施主体

主体となる法人等(個人)	
代表者	
所在地	
経営概要	
① 産地面積及び作目	
② 従業員数(構成員数)	

※経営概要については、法人の場合は、「① 経営面積及び作目」、「② 従業員数(代表者含む)」、個人の場合は、実証を行う経営体の情報を記載。
団体の場合は、別途構成員の経営概要を記すこと

(2) 連携する農業関連事業者・実需者及び役割

農業関連事業者等	役割

2. 実証を希望するほ場

優先順位	ほ場	このほ場の使用を希望する理由
1		
2		
3		

※使用を希望するほ場について記入する。なお、希望するほ場が使用できない場合、他ほ場の使用を希望する場合は、「1」、「2」、「3」にそれぞれ希望するほ場を記入する。優先順位1位とするほ場については、希望の理由を記載すること。

3. 次世代型営農モデルの実証に係る提案

(1) 実証課題

スマート農業技術を活用した露地野菜における営農モデルの実証	
資材高騰に対応した露地野菜における低コスト営農モデルの実証	
みどりの食料システム戦略に掲げる目標達成に繋がる営農モデルの実証	

(注) 複数ある場合は、実証する内容に最も近いと思われるものに○をしてください。

(2) 実証内容

--

(3) 具体的な実証の内容

実証する技術等	
取組の背景・目的	
実証の具体的な方法	
実証期間	

(注) ・「実証する技術等」には、実証するスマート農業技術や資材の名称・メーカーなどの情報を記入
・「取組の背景・目的」には、その技術等の実証に取り組む必要性や課題等を記入
・「実証の具体的な方法」には、実証の内容を具体的に記入
・「実証期間」には、当該技術等の実証を行う年度を記入。年度毎に実証内容が異なる等、複数技術の検証を行う場合は、この表を複製・追加し記入

4. 次世代営農総合研修

区分（対象）	研修内容	時期	具体的な内容
県立農業大学校生、 みやざき農業実践塾 生			
担い手農家 普及指導員 農業高校生 等			

5. その他企画

（注）その他、農業大学校生への講義や連携等で提案いただけることがあれば記載ください。ない場合は記載不要です。

6. 特記事項

（注）応募に際し、特記しておくべき事項がある場合は記入ください。

7. 担当者（実務的な窓口担当者）

担当者	ふりがな 氏名		役職名	
	所属			
	電話		FAX	
	e-mail			

（注）県からの連絡に応じることができる担当者を記入ください。